



応用編

セルフィー棒でセルフィーを撮ってみよう!



セルフィー棒の先に取り付けたスマートフォンの角度も自由自在に、棒の長さを活かして頭上や足元から撮影すれば、普段目にする事のない位置からや広い範囲の写真を撮影することもできます。また、大人数で撮影したりする時にも便利です。



1

液晶画面は、広い範囲が写るようにしておきます。そして、フレームの中に自分がどの位置に収まるか、一度レンズを向けて確認します。



2

セルフィー棒の先にスマートフォンを取り付けるので、セルフタイマーを設定します(シャッターと連動する機能を持ったセルフィー棒の場合は、棒の手持ち部分にシャッターボタンが付いているので、セルフタイマーの設定はしません)。



3

セルフィー棒が長いので、手ぶれ防止のために棒を持っている反対の手で腕を支えて、撮影することをお勧めします。



テクニック編

編集部が選ぶセルフィーを撮る時のおすすめ 10 選ポーズ集!

セルフィーを撮る際のおすすめポーズを紹介します。顔の付近で手を使ってポーズを作ってみたり、遠近法を使って一緒に撮るアイテム(風景や建物など)を手で持ったり、つまんだりしてみます。このテクニック編では、手で持ったスマートフォン(基本編)でも、セルフィー棒を使った場合(応用編)でも撮影できます。



首をかしげるポーズ(色っぽく、いつもと違った表情で)



頬に手をあてるポーズ(輪郭が隠れ小顔に見えます)



ピースのポーズ(鉄板のピースで写真に変化を出します)



頬にこぶしをあてるポーズ(フェイスラインが隠れるので細くなったように)



ふせ目のポーズ(少し目線をズラして、アートっぽく)



指さしのポーズ(指されたものが強調されます)



しーっのポーズ(口元に人差し指を立てて、セクシーに)



手のひらに乗せるポーズ(遠近の錯覚を利用したトリックフォトの定番)



下からつまむポーズ(ありえないことまでできてしまう)



上から引っ張るポーズ(アイテムによっては不可能を可能にします)